



2026年6月11日

各位

会社名 株式会社 トップカルチャー
代表者名 代表取締役社長 CEO 清水大輔
(コード番号 7640・東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営企画室長兼管理本部長 吉田勝一
TEL 025-232-0008
<https://www.topculture.co.jp>

特別利益（負ののれん発生益）の計上
及び2026年10月期第2四半期（中間期）業績予想と実績値との差異
並びに2026年10月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、特別利益（負ののれん発生益）を計上すること、及び2025年12月11日に公表いたしました2026年10月期第2四半期（中間期）の業績予想と本日公表の実績値との差異並びに2026年10月期通期の業績予想の修正に関し下記の通りお知らせいたします。

1. 特別利益（負ののれん発生益）の計上について

2026年4月1日付、子会社である明文堂が、明文堂プランナーが営む書店運営事業のうち9店舗の事業と外商部の事業を会社分割（吸収分割）により承継したことに伴い、特別利益に負ののれん発生益747百万円を計上いたしました。

2. 2026年10月期 第2四半期（中間期）業績予想と実績値との差異について

(1) 連結業績予想と実績値との差異（2025年11月1日～2026年4月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益（円）
前回発表予想（A）	9,626	273	227	186	11.98
実績値（B）	9,398	142	113	812	52.02
増減額（B-A）	△227	△130	△113	625	—
増減率（％）	△2.3	△47.8	△50.0	334.2	—
（ご参考）前期実績 （2025年10月期第2四半期）	9,302	△111	△149	△262	△16.8

(2) 個別業績予想と実績値との差異（2025年11月1日～2026年4月30日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益（円）
前回発表予想（A）	8,571	155	145	9.32
実績値（B）	7,902	30	22	1.45
増減額（B-A）	△668	△125	△122	—
増減率（％）	△7.8	△80.6	△84.4	—
（ご参考）前期実績 （2025年10月期第2四半期）	8,379	△189	△285	△18.29

(3) 差異が生じた理由

中期経営計画3年目の当期におきましては、売上高は、主力である書籍、特撰雑貨・文具を中心に堅調に推移しました。また、新たに取り組みました買取大吉事業やアミューズ事業、子会社におけるゲーム・トレカ事業やCafé事業、4月より明文堂の売上高も寄与し、連結売上高全体では前年を上回りました。一方、利益面に関しては、既存店舗の収益改善は進み、前年実績より大きく改善しましたが、閉店や既存店改装に伴うコストが想定よりも上がったことにより、営業利益、経常利益は前回予想値を下回りました。

なお、連結において、1.に記載の通り、特別利益に負ののれん発生益を計上したことに伴い、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想値を大きく上回りました。

3. 2026年10月期 通期連結・個別業績予想の修正について

(1) 連結業績予想の修正 (2025年11月1日～2026年10月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	18,250	395	295	164	10.51
今回の修正予想値(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2025年10月期第2四半期)	17,333	△391	△476	△731	△46.84

(2) 個別業績予想の修正 (2025年11月1日～2026年10月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	16,076	89	77	27	1.75
今回の修正予想値(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2025年10月期第2四半期)	15,429	△586	△590	△805	△51.58

(3) 業績予想修正の理由

当社グループの主軸である蔦屋書店事業におきまして、書店の新たな価値創出を図るべく、書籍を中心とした事業展開や新規商品・サービス・企画等の導入を進めるとともに、引き続き既存店の改装を推進してまいります。

また、事業承継した店舗につきましては、改装等を含む今後の運営方針を検討しており、その内容によって、今後当社グループの業績への影響が変動する可能性があることから、現在精査を進めております。つきましては、業績予想は未定とさせていただき、今後、合理的な算定が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

以上